



楽しそうに赤ちゃんをあやす生徒

# 赤ちゃん 気持ちいい

倉吉・東中でふれあい会

7.1

中学生が赤ちゃん（催）が六月二十七日、触れ合い、コミュニケーション力などを学ぶ「赤ちゃんとのふれあい会」（NPO未来主

催）が六月二十七日、倉吉市宮川町二丁目の東中学校で開かれた。二年生二十八人が、赤ちゃんを抱っこしたりあやしたりして、命の大切さなどを学んだ。

鳥取大学医学部の高塚人志准教授をアドバイザーに迎え、対面時には、お互いが気持ち

よく過ごす方法などを学んだ。

石原翔太君（二四）は「赤ちゃんを抱っこしていたら落ち着く」とうれしそうに様子。四カ月になる三女の香伯（ほく）ちゃんと訪れた、琴浦町八橋の押本真由美さん（三七）は「普段接点がないので、授業でのこういう取り組みはお母さんにとってもいい機会になる」と話し、中学生の姿を通してわが子の将来像をイメージ

していた。

同NPOの松田隆副理事長は「市全体の学校で取り組むように期待している」と話していた。